

事務事業評価シート

(H.30)No.	5025	(H.29)No.	5025
-----------	------	-----------	------

事務事業名	道路維持費		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	維持管理室	伊集院 時仁	

会計区分	事業コード	391501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	土木費	道路維持費
項	道路橋梁費	(小事業名)
目	道路維持費	道路維持費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5	快適な生活環境づくり
	施策	2	道路整備
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。
事業内容
生活道路の安全性向上を図るため、適切な維持管理を進めます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	道路施設の維持修繕 1,451千円 道路施設の維持工事 24,909千円 道路施設の作業・業務委託 47,971千円 ・道路施設分 34,900千円 ・雪氷対策分 6,085千円 その他(需用費、原材料他) 23,289千円 ・道路施設分 19,531千円 ・雪氷対策分 3,758千円	道路施設の維持修繕 1,500千円 道路施設の維持工事 25,000千円 道路施設の作業・業務委託 43,000千円 ・道路施設分 36,000千円 ・雪氷対策分 0千円 その他(需用費、原材料他) 20,816千円 ・道路施設分 19,616千円 ・雪氷対策分 1,200千円	

	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	道路施設の維持修繕 維持工事 作業・業務委託 雪氷対策 その他	道路施設の維持修繕 維持工事 作業・業務委託 雪氷対策 その他	道路施設の維持修繕 維持工事 作業・業務委託 雪氷対策 その他

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		97,620千円		90,316千円	92,000千円	94,000千円	96,000千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債		9,000		21,000		
	その他(諸収入)		384		382		
	一般財源	0	88,236	0	68,934	92,000	94,000
人工数	職員		0.40人		0.40人	0.40人	0.40人
	臨時職員等						
②概算人件費	0千円	2,960千円	0千円	2,960千円	2,960千円	2,960千円	2,960千円
①+②総事業費	0千円	100,580千円	0千円	93,276千円	94,960千円	96,960千円	98,960千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<ul style="list-style-type: none"> 道路施設の維持修繕に努めましたが、施設が年々老朽化し、補修箇所が増える傾向にあります。 地域要望等に基づき、生活道路の整備を進めることにより、安全で快適な道路環境の形成を図ります。 補修等の要望箇所については、地元自治会等と調整し、補修・修繕にあたっての優先度を検討します。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
地域等との調整を踏まえ、緊急性や有効性に配慮し、生活に密着した道路から維持補修を進めます。施設が年々老朽化し、補修箇所が増える傾向にある中、生活道路の安全性を確保するためには、今後、事業規模を拡大して取組を継続する必要があります。

6. 事務事業の取組に関する市の計画